



## 市政懇談会「留萌おもいやり・おもてなし物語」を開催しました

市では、皆さんと情報共有を進め、皆さんの声を市政に反映させることを目的に市政懇談会を開催しています。



### 市の政策について報告

市では、平成27年度のテーマ「留萌おもいやり・おもてなし物語」、キャッチフレーズ「明るく笑顔のキヤッチボール」を掲げ、皆さんが住みやすい地域だと感じられる「人情港町留萌」の実現のため、さまざまな政策を進めています。

市政懇談会「留萌おもいやり・おもてなし物語」は、平成27年10月31日(土)午後1時半から留萌産業会館2階ホールで開催し、市内37町内会から合わせて53人の方に参加していただき、初めに各担当部長が次の4項目についてそれぞれ報告しました。

### 留萌市の人口ビジョン

「留萌市の人口ビジョン これから25年後(2040年)の想定人口」では、地域振興部長が平成22年までの留萌市の人口の推移や人口減少の状況などに触れた後、人口減少の抑制のための目指すべき将来の方向性などを定めた「留萌市人口ビジョン」について説明しました。また、留萌市人口ビジョンに基づいた今後5カ

年の具体的な取り組みを示した「留萌市総合戦略」について説明しました。

### 留萌市中期財政計画

「留萌市中期財政計画」では、総務部長が平成27年度に終了が見込まれている「新・留萌市財政健全化計画」についての検証をまとめた資料を示し、市の財政状況が順調に推移していることを説明した後、28年度から実施を予定している「留萌市中期財政計画」について、核となる5つの財政規律(基準)や推計条件、28年度から32年度までの5カ年の財政見通しについて説明しました。

### 船場公園の運営管理

「船場公園の運営管理について」市民と来訪者との交流の場として、都市環境部長が平成28年5月に供用開始予定である船場公園の「管理棟」「多目的広場」「ふれあい広場」などの概要や機能についてそれぞれ説明した後、船場公園の運営管理に指定管理者制度を導入し、指定管理者に委託することを説明しました。

### 平成27年度の除排雪計画

「今年の除排雪計画について」では、都市環境部長が留萌市の過去9年間の気象状況や運搬積雪量の推移に触れた後、平成27年度除排雪計画をはじめ、ロードヒーティング稼働箇所や雪捨て場の開設、ダンプロック・融雪機無料貸し出し制度などを説明し、除排雪に対する理解と協力を呼び掛けました。

### グループ別意見交換

次いで、グループ別意見交換では、地域振興部長が「JR北海道・留萌線(留萌～増毛)の現況」に基づき、留萌線の沿線概要や利用状況、収支状況などについて情報提供した後、参加した皆さんからJR北海道・留萌線(留萌～増毛)の現状や留萌市の人口ビジョン、留萌市中期財政計画などについて意見・要望をいただきました。

皆さんからいただいた主な意見・要望は左記のとおりです。また、市ホームページ(<http://www.e-rumoi.jp/>)でもご覧いただけます。

## グループ別意見交換 (一部抜粋)

※凡例→「Q.」参加した方からの意見や要望 「A.」市の回答

### ●JR北海道・留萌線(留萌～増毛)の現況

- Q. お客さんが少なく企業の論理からすると廃線は仕方ない。ここはもともと路線バスが走っている。JRの傷が少ないうちに廃線するのが良いのではないか。
- A. 市民や市議会の意見を参考に、今年度中に市の判断を決定し、JR北海道に伝えることとしている。
- Q. JR北海道・留萌線(深川～留萌)の廃止の可能性とそのときの取り組みは。
- A. この区間も赤字路線であることはJR北海道からも聞いているが、現時点ではJR北海道・留萌線(深川～留萌)の廃止の話はない。乗客数を増やすことが現実的には求められると考える。

### ●留萌市の人口ビジョン

- Q. 人口減少を食い止める策は。
- A. 国全体が減少傾向にある中で、減少幅をいかに少なくしていくかという考えの基、子どもを産んでもらうため親の負担を減らすこと、留萌に来てもらうよう交流人口を増やすこと、健康になってもらい元気な高齢者を増やすことを考えている。
- Q. 若い人が入ってきたり、戻ってこない人口減少の対策として始まらない。
- A. 大学や専門学校などがなく、進学で出て行っても戻ってくる仕組みを考える必要がある。例えば、幌糠地域の林業を生かし、間伐材を利用した燃料をつくるようなことができないかと考えており、今年からは、幌糠で新規就農に結び付くような新たな農業として薬物栽培や花き栽培といった取り組みなどを進めている。

### ●留萌市中期財政計画

- Q. 市立病院への繰出しは、中期財政計画の中で合計いくらになるのか。
- A. 推計として1年で9億円、それを5年間続けて繰出していくという推計である。

### ●船場公園の運営管理について

- Q. まちなかと船場公園を行き来するのが不便である。駅もあり、踏切もあるので。
- A. 国道231号留萌拡幅事業により、踏切位置もまちなかに近くなり、踏切道路幅員も拡幅になり利便性が改善されている。また、JR北海道の厚意により駅構内の通路も通行可能となっており、さらに平成29年度には市道船場公園通りが開通し、高砂町方面など市街地東部からのアクセスも向上する。
- Q. 船場公園にどのような施設を造るのか、市民に情報提供するのが明らかに不足していた。完成してから施設を市民に利用を促すようにしか聞こえない。
- A. 平成15年から16年にかけて公募による市民会議を開催して議論を重ねた上、現計画を策定して完成した。今後は指定管理者と協議して、さまざまな事業を展開していく。

### ●今年の除排雪計画について

- Q. 除雪に関して、道路が狭い。
- A. 道路除雪は、決まった時間内に除雪するため路肩へのかき分け堆積除雪が基本となっている。道路が狭くなり、交通に支障が生じそうな路線については状況を確認の上、必要に応じて排雪を実施しているので、間口除雪については各家庭での協力をお願いしている。
- Q. 市の除雪計画(除雪出動基準)に基づいて除雪業者が来ることになっているが、計画通り除雪に来たことがない。
- A. 早朝に突然降りだすような降雪始めの時間が遅い場合には、出動判断の関係で入れない場合があるが、出動基準に則って除雪を行っている。



▲市政懇談会「留萌おもいやり・おもてなし物語」グループ別意見交換

市では、今回の市政懇談会でいただいた貴重な意見を参考にしながら、これからの政策を展開していきます。今後も多くの皆さんから知恵をお借りして情報の共有を進め、協働のマチづくりに取り組んでいきます。